



ホギメディカルのサステナビリティ

医療の安全・安心を守り続けること

当社は「社業を通じて医療進歩の一翼を担い、人々の健やかな生命と幸福に尽くし、もって社会の繁栄に寄与する」という社是のもと、企業価値の持続的向上を使命とし、全てのステークホルダーから選ばれ、信頼されることを目指しています。未来にも安全と安心を届け続けることで、地球環境と医療、経済の共存を目指し、新たなソリューションを提供してまいります。

Sustainability

当社は独自のESG経営による諸施策に取り組んでいます。

E Environment [環境]	S Social [社会]	G Governance [企業統治]
R-SUD(単回使用医療機器再製造)事業	安全な製品で現場に安心を	情報セキュリティの強化
ホテルの里プロジェクト	医師と共同で製品開発	報酬諮問委員会の設置 P15
営業車をハイブリッド車に	医療現場の取り組みを全国に情報共有	コンプライアンス教育
	感染防止関連製品の供給	
	コロナウイルスへの社内対応	
	勤務形態の柔軟化	

Environment

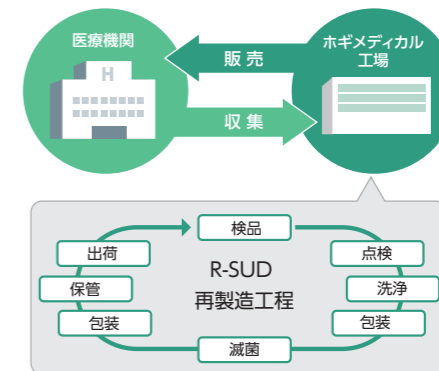
R-SUD(単回使用医療機器再製造)事業で、資源の有効活用を目指す

4品目の承認を取得。販売に向けビジネスモデルの最終設計へ

R-SUD事業は、医療材料SUD(Single Use Device:単回使用医療機器)を、使用後に収集し、検査・分解・洗浄・滅菌などの処理を行った上で、同一用途のSUDとして再び製造販売する事業です。日本では、2017年7月31日に厚生労働省がR-SUDに関する新しい制度の創設を発表、法令が整備されました。医療機関のコスト削減効果が期待される他、医療安全や資源の有効活用と環境保護にも繋がることから、国内でのニーズが増えることが予想されています。

<薬事承認は国内最大数>

当社は、国内における承認第一号を取得し、その後4品目の承認へと拡大しています。SCM構想の一環として本ビジネスモデルの早期立上げに注力しており、薬事承認の推進、サプライチェーンの確立などの体制作りを強化しています。



ホテルの里プロジェクト

自然、地域、社員の交流の場に

当社は環境保全活動にも力を入れています。2009年より、NPO法人「アサザ基金」、および牛久市役所と協力して、筑波工場に隣接する「谷津田」と呼ばれる湿地帯の耕作放棄地1.7ヘクタールを市から借り受け、無農薬で米を栽培し、水田として再生・復活させる「ホテルの里プロジェクト」に取り組んでいます。

牛久市の耕作放棄地水路の引き方、米の栽培方法などは「アサザ基金」が指導し、作業には当社の従業員やその家族が参加しています。生態系の再生・保全も目指しつつ、田植え・稲刈りなどの農業体験を通じて、良き交流の場ともなっています。作業には現在までに延べ2500人を超える従業員やその家族が参加しました。

生態系の再生・保全を目指すだけでなく、田植えや稲刈りといった農業体験を通じて社員の環境への意識を高め、また、地域住民の方との交流も図っていきたく考えています。



営業車をハイブリット車に変更

営業車の78.7%がハイブリット車へ

当社の営業員は国内の隅々までお客様との面談に出かけることが多いため、少しでも環境に配慮した選択をすべく、営業車を順次ハイブリット車へ移行することを進めています。2021年度8月末時点で300台以上の営業車が切り替わりました。今後も、より有毒ガス排出の少ない車種へ切り替えてまいります。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



13 気候変動に具体的な対策を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに





Social

安全な製品で現場に安心を

医療機器に特化したISO13485を保持



当社は生産部門ならびに本社部門で、ISO9001をベースに医療機器に特化してその品質とマネジメントシステムの確立を要求するISO13485を取得しています。世界の医療機器法規制の整合化を促進することを目的としているISO13485にかなった体制を維持することで、国内はもとより海外も視野に入れた医療機器の進化や流通に対応できる体制を整えています。

また、昨年度より生産部門では「スキルラダー」制度を採り入れ、各工程で必要とされるスキルを明確にし、そこに適した人材を配置する、または教育するといった取組みを行っています。特に、1点1点内容の異なるキット製品を作るには手順の正確性と経験が欠かせません。より安全な製品のご提供に向け、それらを高めたい努力を日々行っています。

医師と共同開発で医療の発展に貢献

現場の困りごとを製品で解決

当社では、全国約330名の営業員に寄せられるお客様のご相談案件がきっかけとなり、医師や看護師の皆様と共同で製品化することにより、医療の発展に貢献しています。近年発売したSuReFlinD®(シュアファインド)は現役医師の発想を元に、当社の研究開発と共同で数年かけて開発しました。また、そのような大型の機械類だけでなく、キットの構成部材1点1点に関しても、現場の「あったらいいな」をカタチにし、オリジナルの部材として製品化しています。それらがキット製品の強みとなり、お客様に選択いただける1つの要素になっています。

医療現場の取り組みを全国に情報共有

医療安全・働き方改革について、研究会・セミナーなどを通じて広く発信

「プレミアムキット®」は、医療安全の追求だけでなく、将来の医療現場におとずれる労働力人口不足に備える商品として広くご認識いただいています。そこで、「プレミアムキット®」をご紹介する傍ら、将来の現場運営のあるべき姿について複数施設での事例をもとにした研究会やセミナーなどを開催しています。そこでは、将来の医療現場の姿について広く意見交換したり、取組施設の事例をご紹介したり、時には看護資格をもつ当社社員が具体的にアドバイスしたりと、様々な立場の方々の知見を広く共有しています。今期はオンラインでの開催がメインとなりましたが、多くのお客様にご好評をいただいています。

また、そのような活動を最新の医療情報とともに「OPERATimes (オペラタイムズ)」という冊子にまとめ、定期的に医療現場にお届けしています。手術室に特化した情報誌が少ないため、毎回5,000部を発行し多くの顧客に提供することも当社の使命だと考えています。



尚、OPERATimesの詳細な情報につきましては、当社ホームページをご覧ください。▶ <https://www.hogy.co.jp/medical/activities.html>



感染防止関連製品の供給に貢献

マスク・手術用ガウンを医療機関に優先的に供給

新型コロナウイルスの発生によって、国内外の医療機関から、一般の方まで多くのマスクや手術用ガウンの需要をいただきました。しかし、当社は医療機関へのサポートを第一に考え、日頃より把握している施設毎の供給量を元に先手で需要を予測しご案内しています。それによって、過剰な供給の偏りを回避し、医療業界全体に行き渡るようお届けしています。

新型コロナウイルスへの社内対応

PCR検査の定期実施、ワクチンの奨励

社員とその家族の安全確保のため、当社では営業部門・生産部門の社員を中心として民間のスクリーニングPCR検査を実施し、健康管理をしています。また、ワクチン接種を希望する社員には、勤務時間内での接種推奨によって受けやすい環境を整えています。

勤務形態の柔軟化

在宅勤務・時差勤務を制度化

当社では10年程前より、営業の一部でリモートワークできる環境を取り入れておりましたが、緊急事態宣言下においては、そのノウハウを拡大し生産部を除くほぼすべての社員において在宅勤務が可能となりました。あわせて時差勤務の体制も整えることで、勤務体系に柔軟性を持たせ、様々な働き方に対応しています。今年度より制度化し、社員の労務環境の向上を図りました。



Governance

情報セキュリティの強化

ISO27001を取得



ITの活用で情報も効率よく入手できる一方で、その管理も重要視されています。当社では原則お客様の個人情報は扱わないこととなっていますが、よりご安心いただくために、情報の管理体制を徹底する「ISO27001」を取得しました。また、毎月情報管理に関する確認と教育を実施し、質を維持しています。

尚、当社のコーポレート・ガバナンスにつきましては、次ページをご覧ください。▶

今後の推進体制について

2021年度より、本社管理部の一部門として管理部取締役を長とする「サステナビリティ推進課」を設置しました。現在、開発・生産・販売・管理部門など、主要部門の管理職を中心とした実務者とともに活動を推進しています。

